

マレーシア便り (第8回)

兵庫県立津名高等学校
理科 物理担当 井俣 由貴史

こんにちは。12月に入り、寒い季節となってきました。冬はインフルエンザやノロウイルスが流行しやすいので、湿度を保ち、こまめに水分を取るによって、喉を乾燥させないようお気をつけください。日本で一時期、蚊を媒体とするデング熱が広がりました。マレーシアでもデング熱は発生しています。11月5日付けのニュースではデング熱の死者数は160人に達しており、前年の60人をはるかに上回っています。虫除けスプレーを使う、長袖を着用するなどして蚊には注意しています。これからの日本でも夏にはそういった注意が必要になってくるかもしれません。

さて、前回の報告から、11月9日(日)EJU試験(日本留学試験)、11月22日(土)兵庫県立伊丹北高等学校の来校がありました。

EJU試験は前回でも報告したとおり、とても大事な試験です。試験の結果は12月下旬に返ってきます。その結果と修了試験の結果で日本のどこの大学に留学するかが決定されるので、また報告したいと思います。



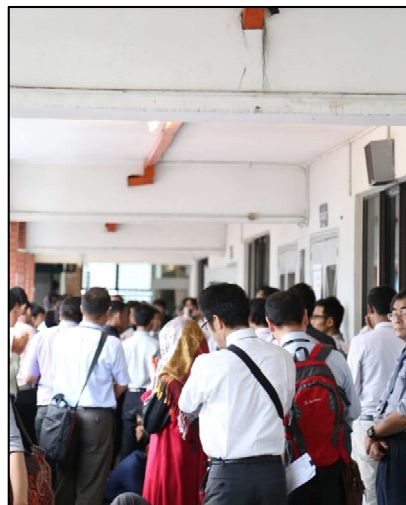
このような服を着ている他校の学生もいました。



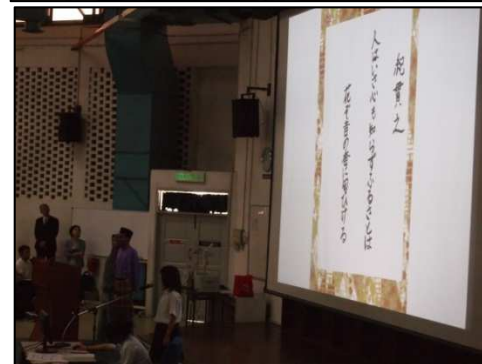
昼食の様子。手で掴んで食べる風景にも慣れてきました



会場となった学校



11月22日(土)には兵庫県立伊丹北高等学校が来校しました。伊丹北高等学校は21日(金)~25日(火)修学旅行でマレーシアに来ました。その2日目の22日(土)にマラヤ大学のAAJの学生と交流会を行いました。学生は伊丹北高校の学生と事前に手紙の交換を行っていたりして、この日をとっても楽しみにしていました。班別の交流ではマレーシアの伝統的な服や遊びを紹介したり、マレーシア料理を一緒に食べたりしました。伊丹北高校からは日本の文化の紹介やクイズを用意してくれ、AAJの学生にとって、日本のことを深く知ることができる良い機会となりました。全体会では伊丹北高校から日本文化探求のプレゼンテーションがありました。お互いプレゼント交換を行い、全員で「ラササヤン」、「あとひとつ」を歌い幕が閉じました。個人的に「あとひとつ」は津名高校65回生5組が1年生のときに文化祭で歌った曲でしたので心打たれました。



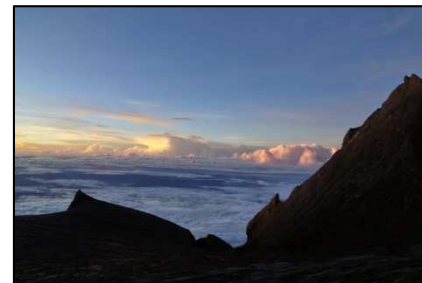
伊丹北高校の学生による
日本文化探求の発表

【番外編】

EJU試験後、1週間の休暇がありました。その休暇を利用して、世界遺産であるキナバル山に登ってきました。標高約1500mまではバス。そこから標高3500mまで7時間かけて登り、宿泊。翌日早朝2時半から4時間かけて4095mの頂上へ。かるい高山病になり、すぐ横は崖にも関わらず、寝そうになりながら登りました。



頂上にて



頂上からの風景



下山途中。登りは真っ暗。